

別広組公告第9号

「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」 第8条の規定による民間事業者の客観的な評価の公表

民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律(平成11年法律第117号)第7条第1項の規定により、藤ヶ谷清掃センター更新事業を実施する民間事業者を選定したので、同法第8条第1項の規定により行った客観的な評価の結果をここに公表する。

平成21年12月25日

別杵速見地域広域市町村圏事務組合
管理者 浜田 博

1 事業の名称及び場所

- (1) 事業の名称 藤ヶ谷清掃センター更新事業
- (2) 事業の場所 藤ヶ谷清掃センター敷地内(大分県別府市大字平道字藤ヶ谷次の333-3)

2 事業の概要

本事業は、PFI法に準じて、選定事業者〔選定された入札参加者の構成員及び入札参加者の構成員が本事業の運営及び維持管理業務を実施するために株主として出資し設立する特別目的会社で構成され、以下「事業者」という。〕が、組合の所有となる施設について整備、運営及び維持管理を一括して行うことを目的とする。

(1) 計画地敷地面積

約7.8ha(うち、工事対象面積は約1.84ha)

(2) 熱回収施設

ア 施設規模等

- ①処理方式：焼却方式(ストーカ方式)
- ②施設規模：235t/日(117.5t/日×2炉)
- ③計画処理量：63,308t/年(可燃ごみ59,534t/年、リサイクルセンター残渣3,774t/年)

イ 受入廃棄物

別杵速見地域広域市町村圏内で発生する、可燃ごみ、リサイクルセンター残渣

(3) リサイクルセンター

ア 施設規模

- ①形式：破碎、磁力選別、アルミ選別
- ②施設規模：25t/日
- ③計画処理量：5,338t/年(不燃ごみ3,622t/年、粗大ごみ1,716t/年)

イ 受入廃棄物

別杵速見地域広域市町村圏内で発生する、不燃ごみ、粗大ごみ

(4) その他施設：管理棟、計量棟等

(5) 外構施設：駐車場、緑地等

(6) 解体施設

ア 焼却処理施設

①焼却方式：ストーカ方式

②施設規模：270t/日（75 t /24h×2 炉、120 t /24h×1 炉）

③建築面積：工場棟 約 3,000 m²、管理棟 約 300 m²

④階数：地上3階、地下1階

⑤構造：鉄筋コンクリート造及び鉄骨造

⑥基礎：杭基礎

イ 粗大ごみ処理施設

①形式：破碎及び磁力選別、高分子化合物・可燃物・不燃物選別

②施設規模：50t/日

③建築面積：投入棟 約 230 m²、破碎残渣棟 約 110 m²、選別貯留棟 約 170 m²、
計量棟 約 15 m²、選別倉庫 約 75 m²

④階数：地上2階、地下1階

⑤構造：鉄骨造

⑥基礎：杭基礎

ウ 不燃物処理・資源化施設

①形式：カレット（白・茶・その他）、鉄、アルミ、その他有価物選別

②施設規模：32.5t/日

③建築面積：施設 約 220 m²、フロン回収倉庫 約 30 m²、有価物選別作業所 約 60 m²

④階数：地上2階

⑤構造：鉄骨造

⑥基礎：杭基礎

(7) 事業方式

DBO方式

(8) 事業期間

①新施設の整備、運営・維持管理及び既存施設の解体・撤去・場内整備工事

・整備期間：平成22年2月から平成26年3月まで

・運営期間：平成26年4月から平成41年3月まで15年間

※熱回収施設及びリサイクルセンターの竣工は平成25年度までとし、
後期の解体工事は平成25年度までに着工すること。

②既存最終処分場（排水処理施設の運営・維持管理を含む）

・運営期間：平成26年4月から平成41年3月まで15年間

(9) 事業の対象となる業務範囲

①新施設の設計

(ア) 施設の設計

(イ) その他関連業務（組合の循環型社会形成推進交付金申請支援及び建設工事に係る許認可申請支援等）

- ②新施設の建設工事
 - (ア) 施設用地の造成工事
 - (イ) 施設の建設
 - (ウ) その他関連業務（事業者が行うべき近隣対応等）
- ③既存施設の解体・撤去・場内整備工事
 - (ア) ごみ焼却処理施設の解体・撤去
 - (イ) 粗大ごみ処理施設、不燃物処理・資源化施設等の解体・撤去
 - (ウ) 撤去後の場内整備工事
 - (エ) その他関連業務（事業者が行うべき近隣対応等）
- ④新施設の運営・維持管理業務
 - (ア) 熱回収施設の運営・維持管理業務
 - ・廃棄物の受入業務
 - ・施設の受付業務
 - ・施設の運転管理業務
 - ・施設の維持管理業務
 - ・施設の情報管理業務
 - ・施設の環境管理業務
 - ・その他関連業務
 - (イ) リサイクルセンターの運営・維持管理業務
 - ・廃棄物の受入業務
 - ・施設の受付業務
 - ・施設の運転管理業務
 - ・施設の維持管理業務
 - ・施設の情報管理業務
 - ・施設の環境管理業務
 - ・その他関連業務
- ⑤再資源化業務
 - ・セメント化業務
- ⑥既存最終処分場の運営・維持管理業務
 - (ア) 焼却飛灰等受入れ業務
 - (イ) 焼却飛灰等の埋立業務
 - (ウ) 排水処理施設の運転・維持管理業務
 - (エ) 既存最終処分場の維持管理業務
 - (オ) 既存最終処分場の情報管理業務
 - (カ) 既存最終処分場の環境管理業務
 - (キ) その他関連業務（事業者が行うべき近隣対応等）
- (10) 組合が行う業務
 - ①新施設の設計・建設に関する業務
 - (ア) 近隣対応（組合が行うべきもの）
 - (イ) 一般廃棄物処理施設の設置届出
 - (ウ) 施設の環境影響評価手続き
 - (エ) 施設建設に伴う交付金申請手続き
 - (オ) 施設建設に伴う各種許認可の申請・取得
 - (カ) 施設の建設工事監理
 - (キ) 契約管理（モニタリング）の実施
 - (ク) 用地外のインフラ整備（電気・水道等の整備、周辺道路整備等）

- (ケ) その他これらを実施する上で必要な業務
- ②新施設及び既存最終処分場の運営・維持管理に関する業務
 - (ア) 近隣対応（組合が行うべきもの）
 - (イ) 契約管理（モニタリング）の実施
 - (ウ) 施設への一般廃棄物等の搬入
 - (エ) その他これらを実施する上で必要な業務

3 事業者の選定方法

事業者の募集及び選定は、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の10の2の規定に基づく総合評価一般競争入札方式により実施した。

4 事業者選定までの経過

平成20年 4月14日（月）	実施方針の公表
平成20年 4月28日（月）～ 5月 9日（金）	実施方針に対する質問・意見の受付
平成20年 5月23日（金）	実施方針に対する質問・意見への回答
平成20年 6月 9日（月）	特定事業の選定について公表
平成20年12月 3日（水）	入札公告（当初）
平成20年12月10日（水）～12月12日（金）	入札説明書等に対する質問受付（第1回）
平成21年 1月 6日（火）	入札説明書等に対する第1回質問への回答（一部）の公表
平成21年 1月13日（火）	入札説明書等に対する第1回質問への回答の公表
平成21年 1月19日（月）	参加表明書、資格審査申請書類受付
平成21年 1月23日（金）	資格審査結果の通知
平成21年 1月26日（月）～ 1月30日（金）	入札説明書等に関する質問受付（第2回）
平成21年 2月19日（木）	入札説明書等に対する第2回質問への回答（一部）の公表
平成21年 2月23日（月）	入札説明書等に対する第2回質問への回答の公表
平成21年 8月 7日（金）	入札公告（再度）
平成21年 8月18日（火）～ 8月21日（金）	質問の受付
平成21年 9月 3日（木）	質問回答の公表
平成21年 9月11日（金）	参加表明書、資格審査申請書類受付
平成21年 9月18日（金）	資格審査結果の通知
平成21年11月 6日（金）	提案書の受付
平成21年12月 3日（木）	落札者の決定
平成21年12月25日（金）	客観的な評価の公表

5 藤ヶ谷清掃センター更新に係る事業者選定等アドバイザー業者選定委員会の設置

事業提案の審査は、透明性及び公平性を確保することを目的として設置した「藤ヶ谷清掃センター更新に係る事業者選定等アドバイザー業者選定委員会（以下「事業者等選定委員会」という。）」において行った。

事業者等選定委員会は、以下の10名で構成される。

- 会長 友永 哲男（別府市副市長）
- 副会長 秦野 晃郎（公認会計士）
- 委員 開 静子（一級建築士）
- 委員 佐藤 誠治（国立大学法人大分大学工学部教授）
- 委員 平尾 実（㈱福岡クリーンエナジー調査役）
- 委員 堀田 幸一（杵築市副市長）
- 委員 今宮 禮二（日出町副町長）
- 委員 浜口 善友（別杵速見地域広域市町村圏事務組合幹事会幹事（別府市））
- 委員 泥谷 修（別杵速見地域広域市町村圏事務組合幹事会幹事（杵築市））
- 委員 越智 好（別杵速見地域広域市町村圏事務組合幹事会幹事（日出町））

※上記の事業者等選定委員会は再度入札公告以降のメンバー

6 事業者等選定委員会の開催経過

本事業における事業者等選定委員会の開催経過は、次のとおりである。

事業者等選定委員会の開催経過

日 付	内 容	
平成20年 4月 11日	第10回事業者等選定委員会	当初入札
平成20年 6月 4日	第11回事業者等選定委員会	
平成20年 8月 21日	第12回事業者等選定委員会	
平成20年11月 17日	第13回事業者等選定委員会	
平成20年12月 3日	第14回事業者等選定委員会	
平成21年 3月 26日	第15回事業者等選定委員会	
平成21年 8月 6日	第16回事業者等選定委員会	再度入札
平成21年11月 12日	第17回事業者等選定委員会	
平成21年12月 2日	第18回事業者等選定委員会	

※第1回～第9回までの事業者等選定委員会はアドバイザー選定及び事業方式決定を実施。

7 審査の方法

(1) 参加資格審査

組合は、参加表明書と同時に提出される資格確認申請書から、入札説明書に記載した入札参加者が満たすべき参加資格要件について確認し、確認の結果を代表企業に対し通知する。資格不備の場合は失格とする。

(2) 基礎審査の方法

ア 審査方法

組合は、入札参加者から提出される提案書により、入札参加者が以下に示す基礎審査項目を満たしていることを確認する。基礎審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。全ての基礎審査項目を満たしていることが確認された場合、当該提案書について定量化審査を行う。

【基礎審査の項目】

審査対象	基礎審査項目
共通事項	<ul style="list-style-type: none">提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。提案書全体について、様式集に従った構成（項目の構成、枚数制限等）となっていること。
設計・建設工事 計画提案書	<ul style="list-style-type: none">当該提案に関する各様式（別添「様式集」参照）に示す項目に対する提案の内容が要求水準を満たしていること。
運営・維持管理 計画提案書	<ul style="list-style-type: none">当該提案に関する各様式（別添「様式集」参照）に示す項目に対する提案の内容が要求水準を満たしていること。
事業計画提案書	<ul style="list-style-type: none">請負代金（税抜き額）が12,468,255千円以内であること。運営等業務委託料とセメント処理業務委託料の事業期間を通じた合計金額（税抜き額）が12,231,788千円以内であること。リスク分担に関し、入札説明書別紙で示したリスクの分担方針との齟齬がないこと。

(3) 定量化審査の方法

ア 審査方法

定量化審査においては、設計・建設工事、運営・維持管理、事業計画及び入札価格の各審査項目に係る提案内容を事業者等選定委員会委員による合議にて得点化し、得点の合計値を総合評価値とする。

なお、定量化審査における各審査項目の配点及び評価の視点については、組合が本事業に期待する事項の必要性又は重要性を勘案して設定した。また、高効率ごみ発電施設が循環型社会形成推進交付金のメニューに加わったことを受け、高効率ごみ発電の提案に対し10点を付与する。

【定量化審査の配点】

審査項目		配点
1. 設計・建設工事に関する事項		25点
	(1) 施設配置	6点
	(2) 環境対策	7点
	(3) 来場者対応	6点
	(4) 施工計画	2点
	(5) 実績	4点
2. 運営・維持管理に関する事項		25点
	(1) 受入・受付対応	2点
	(2) 運転・維持管理	5点
	(3) 環境・情報管理	2点
	(4) 再資源化対応	8点
	(5) 最終処分場の運営・維持管理	4点
	(6) 実績	4点
3. 事業計画に関する事項		20点
	(1) 長期収支計画の安定性	2点
	(2) リスク管理方針	3点
	(3) 地域や社会への貢献	15点
4. 入札価格に関する事項		30点
合計		100点

審査項目		配点
5. 高効率ごみ発電に関する事項		10点
	(1) 発電効率	10点

イ 入札価格に関する事項以外の得点化方法

事業者等選定委員会は、提案書に記載された内容について、入札説明書及び要求水準書に示す要件を超える提案があった部分について、その小項目（発電効率は除く）ごとに、以下に示す「入札価格以外の得点化方法」に示す5段階評価（発電効率についてはA評価またはE評価のいずれかにする）により得点を付与する。なお、定量化審査の配点表に提示している配点区分（発電効率は除く）においてE評価が一つでもある場合は、失格とする。

評価	判断基準	得点化方法
A	当該評価項目において特に優れている	配点×1.00
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	当該評価項目において優れている	配点×0.50
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	当該評価項目において優れているとは認められない	配点×0.00

ウ 入札価格以外の審査項目、審査のポイント及び配点

【定量化審査の配点表】

審査項目（小項目別）	配点
1 設計・建設工事に関する事項	25点
(1) 施設配置	6点
ア 処理対象物の搬入の安全性及び利便性に対して、優れた提案がなされているか。	
イ 来場者の安全性及び利便性に対して、優れた提案がなされているか。	
ウ 最終処分場への搬出に対して、優れた提案がなされているか。	
エ 景観に対して、優れた提案がなされているか。	
オ メンテナンス及び緊急時のスペース等が十分確保されているか。	
カ その他施設配置に対して、優れた提案がなされているか。	
(2) 環境対策	7点
ア 排ガスに対して、優れた提案がなされているか。	
イ 排水・騒音・振動・悪臭に対して、優れた提案がなされているか。	
ウ CO ₂ 低減対策に対して、優れた提案がなされているか。	
エ その他環境対策に対して、優れた提案がなされているか。	
(3) 来場者対応	6点
ア 説明用の設備・諸室に対して、優れた提案がなされているか。	
イ その他来場者対応に対して、優れた提案がなされているか。	
(4) 施工計画	2点
ア 施設の建替え計画に対し、具体的かつ実現性の高い提案がなされているか。	
イ 既存施設の安全及び適切な作業（作業員・搬出入車・その他関係車両等）確保に対し、優れた提案がなされているか。	
ウ その他の施工計画に対して、優れた提案がなされているか。	
(5) 実績	4点
ア 焼却施設の建設実績に対して、優れた提案がなされているか。	
イ リサイクルセンターの建設実績に対して、優れた提案がなされているか。	
2 運営・維持管理に関する事項	25点
(1) 受入・受付対応	2点
ア 受入確認（不適物管理）に対して、優れた提案がなされているか。	
イ その他受入・受付に対して、優れた提案がなされているか。	
(2) 運転・維持管理	5点
ア 施設の明渡し時の状態に対して、優れた提案がなされているか。	
イ 緊急時（災害等）の対応に対して、優れた提案がなされているか。	
ウ その他運転・維持管理に対して、優れた提案がなされているか。	
(3) 環境・情報管理	2点
ア 排ガス、排水、騒音、振動、悪臭等の環境管理（測定項目、頻度、箇所）に対して、優れた提案がなされているか。	
イ その他環境・情報管理に対して、優れた提案がなされているか。	
(4) 再資源化対応	8点
ア セメントの資源化の安定性（販売先の確実性、実績、熱回収施設とセメント化施設との連携等）に対して、優れた提案がなされているか。	
イ 金属類の取引価格の安定性に対して、優れた提案がなされているか。	

ウ 発電における収入以外の効果に対して、優れた提案がなされているか。	
エ その他生成物（焼却飛灰等）の資源化構想に対して、優れた提案がなされているか。	
(5) 最終処分場の運営・維持管理	
ア 焼却飛灰の埋立における浸出水及び埋立地内の安定性に対して、優れた提案がなされているか。	4点
イ 埋立量（焼却飛灰〔入札額以外で検討する焼却飛灰の資源化は除く。〕・覆土等）の減量に対して、優れた提案がなされているか。	
ウ その他最終処分場の運営・維持管理に対して、優れた提案がなされているか。	
(6) 実績	
ア 焼却施設の運転実績に対して、優れた提案がなされているか。	4点
イ リサイクルセンターの運転実績に対して、優れた提案がなされているか。	
ウ 最終処分場の運転実績に対して、優れた提案がなされているか。	
エ セメント化の運転実績に対して、優れた提案がなされているか。	
3 事業計画に関する事項	20点
(1) 長期収支計画の安定性	
ア SPCの安定化方策として、優れた提案がなされているか。	2点
イ 不測の事態への対応策として、優れた提案がなされているか。	
ウ その他長期収支計画の安定性について、優れた提案がなされているか。	
(2) リスク管理方針	
ア リスク管理の基本的な考え方について、優れた提案がなされているか。	3点
イ セメント化業務の継続性について、優れた提案がなされているか。	
ウ 本事業に伴うリスク（上記セメント化業務は対象外とする）を認識し、その対応について、優れた提案がなされているか。	
エ 個別のリスク対応策として、優れた提案がなされているか。（ただし、長期収支計画の安定化において評価する事項は対象外とする。）	
オ その他リスク管理方針について、優れた提案がなされているか。	
(3) 地域や社会への貢献	15点
ア 本事業の設計・建設工事の各分野（プラント工事、土木・建築工事、解体工事等）並びに運営・維持管理業務での資材・用役調達等において、積極的な地元企業の活用を組合は期待している。それに対する発注額及び企業数等について実効性のある提案がなされているか。（地元とは別府市、杵築市、日出町を指す。）	5点
イ 本事業の運営・維持管理業務において、本組合の廃棄物処理事業を十分に熟知し、かつ現組合施設の運営・維持管理能力水準を確保するために、地元人材活用を組合は期待している。それに対する人員、雇用の考え方について、実効性のある提案がなされているか。	10点
4 入札価格に関する事項	30点
入札価格	30点
合 計	100点

審査項目（小項目別）	配点
1 高効率ごみ発電に関する事項	10点
(1) 発電効率	10点
ア 発電効率17%以上を達成できる十分な確度の提案がなされているか。	

エ 入札価格に関する事項の得点化方法

入札価格について、次の方法により評価し、得点を付与する。

- ①入札参加者中、入札価格が最小となった提案に対し、配点の満点である30点を付与する。
- ②他の入札参加者の提案については、最小となる入札価格と当該入札参加者の差額を1点/10,000万円の割合で得点換算し、それを30点から減じた点数を付与する。得点は小数点第三位以下を四捨五入した値とする。

入札参加者	入札価格	得点
最低価格の入札参加者	x 円	30点
その他の入札参加者	y 円	$30 - [(y - x) / 10,000 \text{万円}]$ 点

8 審査結果

平成 20 年 12 月 3 日に行った当初入札公告については、提案書受付前に参加表明グループ全てより辞退届が提出されたため中止となった。

平成 21 年 8 月 7 日に再度の入札公告を行い、平成 21 年 9 月 11 日に参加表明書及び資格審査申請書類を受け付けたところ、以下の 4 グループから入札参加の申請があった。参加資格審査にて 4 グループ全てが入札参加資格を有することを確認し、平成 21 年 9 月 18 日に代表企業に対し入札参加資格確認を書面にて通知した。

入札参加者一覧表

日立造船グループ	
代表企業	日立造船(株)
設計企業	日立造船(株)
建設企業 (建築担当)	日立造船(株)
建設企業 (プラント担当)	日立造船(株)
運営企業	日立造船(株)
	ニチゾウ九州サービス(株)
セメント化企業	太平洋セメント(株)九州支店
(株)川崎技研グループ	
代表企業	(株)川崎技研
設計企業	(株)松井設計
建設企業 (建築担当)	(株)和田組
建設企業 (プラント担当)	(株)川崎技研
運営企業	(株)川崎技研
セメント化企業	太平洋セメント(株)九州支店
建設企業土木造成	(株)安部組
三菱重工環境・化学エンジニアリング(株)九州支店グループ	
代表企業	三菱重工環境・化学エンジニアリング(株)九州支店
設計企業	戸田建設(株)九州支店
建設企業 (建築担当)	戸田建設(株)九州支店
建設企業 (プラント担当)	三菱重工環境・化学エンジニアリング(株)九州支店
運営企業	三菱重工環境・化学エンジニアリング(株)九州支店
	九州重環オペレーション(株)
	東京産業(株)福岡支店
セメント化企業	太平洋セメント(株)九州支店
荏原環境プラントグループ	
代表企業	荏原環境プラント(株)
設計企業	荏原環境プラント(株)
建設企業 (建築担当)	荏原環境プラント(株)
建設企業 (プラント担当)	荏原環境プラント(株)
運営企業	荏原環境プラント(株)
	荏原エンジニアリングサービス(株)九州支店
セメント化企業	太平洋セメント(株)九州支店

平成 21 年 11 月 6 日には 4 グループより提案書が提出された。組合が基礎審査を行ったところ、三菱重工環境・化学エンジニアリング(株)九州支店グループから提出された提案書の一部において、予め示した基礎審査項目を満たさないことを確認できたため、当該グループを失格とした。その他の 3 グループが基礎審査を通過したことを事業者等選定委員会に報告した。

平成 21 年 12 月 2 日に事業者等選定委員会は当該 3 グループの提案書について、落札者決定基準に基づき定量化審査を行った。各グループの定量化審査結果を次のとおり示す。

また、各グループの提案について事業者等選定委員会が評価した事項を別紙1に示す。

定量化審査結果一覧表

審査項目	配点	日立造船グループ		(株)川崎技研グループ		荏原環境プラントグループ	
		評価	得点	評価	得点	評価	得点
1 設計・建設工事に関する事項	(1) 施設配置	6点	B 4.50	C 3.00	C 3.00	C 3.00	3.00
	(2) 環境対策	7点	A 7.00	C 3.50	C 3.50	C 3.50	3.50
	(3) 来場者対応	6点	A 6.00	A 6.00	A 6.00	A 6.00	6.00
	(4) 施工計画	2点	B 1.50	B 1.50	B 1.50	C 1.00	1.00
	(5) 実績	4点	A 4.00	B 3.00	B 3.00	A 4.00	4.00
	小計	25点	23.00	17.00	17.00	17.50	17.50
2 運営・維持管理に関する事項	(1) 受入・受付対応	2点	A 2.00	C 1.00	C 1.00	C 1.00	1.00
	(2) 運転・維持管理	5点	B 3.75	B 3.75	B 3.75	C 2.50	2.50
	(3) 環境・情報管理	2点	C 1.00	D 0.50	D 0.50	D 0.50	0.50
	(4) 再資源化対応	8点	B 6.00	B 6.00	B 6.00	B 6.00	6.00
	(5) 最終処分場の運営・維持管理	4点	B 3.00	D 1.00	D 1.00	C 2.00	2.00
	(6) 実績	4点	A 4.00	B 3.00	B 3.00	A 4.00	4.00
小計	25点	19.75	15.25	15.25	16.00	16.00	
3 事業計画に関する事項	(1) 長期収支計画の安定性	2点	B 1.50	C 1.00	C 1.00	C 1.00	1.00
	(2) リスク管理方針	3点	C 1.50	C 1.50	C 1.50	C 1.50	1.50
	(3) 地域や社会への貢献 (地元企業の活用)	5点	A 5.00	A 5.00	A 5.00	B 3.75	3.75
	(3) 地域や社会への貢献 (地元人材の活用)	10点	A 10.00	A 10.00	A 10.00	B 7.50	7.50
小計	20点	18.00	17.50	17.50	13.75	13.75	
中計		70点	60.75	49.75	49.75	47.25	47.25
4 入札価格に関する事項 (1) 入札価格	30点	—	18.07	—	5.60	—	30.00
5 高効率ごみ発電に関する事項 (1) 発電効率	10点	A	10.00	A	10.00	A	10.00
合計	110点	88.82	65.35	65.35	87.25	87.25	

9 落札者の決定

組合は、事業者等選定委員会で選定した最優秀提案を踏まえ、平成21年12月3日に日立造船グループを落札者として決定した。

<日立造船グループ>

代表企業	日立造船(株)
設計企業	日立造船(株)
建設企業（建築担当）	日立造船(株)
建設企業（プラント担当）	日立造船(株)
運営企業	日立造船(株)
	ニチゾウ九州サービス(株)
セメント化企業	太平洋セメント(株)九州支店

なお、別紙2に事業者等選定委員会の審査講評を示す。

10 落札者の事業計画に基づく財政支出の削減効果

落札者の入札価格に基づき、本事業をDBO事業として実施する場合の組合の財政支出と、組合が直接事業を実施する場合の財政支出の比較を行った結果、現在価値換算で31.5%の削減が見込まれるとともに、落札者の優れた提案により、事業期間を通じて良質な公共サービスを提供することが期待できる。

財政支出の削減効果（現在価値換算値：基準年＝平成20年度）

① 従来方式における別杵速見地域広域市町村圏事務組合財政支出	16,926 百万円
② DBO方式における別杵速見地域広域市町村圏事務組合財政支出	11,595 百万円
DBO方式の導入による財政支出の削減効果（①－②）	5,330 百万円 (31.5%)

注) ①については、平成20年6月9日付けで公表した特定事業の選定における前提条件から算出した。②は、事業者の落札金額に対し、組合収支額（交付金収入、起債金利）を加減した上で現在価値換算した金額である。

事業者等選定委員会が評価した事項

日立造船グループ	(株)川崎技研グループ	荏原環境プラントグループ
1 設計・建設工事に関する事項		
(1) 施設配置		
<u>ア：処理対象物の搬入の安全性及び利便性に対する提案</u> 動線の安全性について、一般車両との分離が入り口付近で可能であり、また、行き先毎に色分けした舗装や渋滞時に備えた待車スペースの確保等の提案があり評価できた。 ごみピット転落者救出用装置の設置等ごみ投入の安全性に対する提案があり評価できた。 搬出入の距離が短く搬入車への利便性が高く評価できた。 ICカードタイプの計量カードの採用等、計量の容易性に対する提案があり評価できた。	<u>ア：処理対象物の搬入の安全性及び利便性に対する提案</u> 動線の安全性について、一般車両との分離も渋滞の影響を受けない箇所でも可能であり、プラットホーム出入口に表示灯、警告灯を設置等の提案があり、評価できた。 転落防止の救助装置の設置等ごみ投入の安全性に対する提案があり評価できた。	<u>ア：処理対象物の搬入の安全性及び利便性に対する提案</u> 動線の安全性について、一般車両との分離が入り口付近で可能であり、評価できた。救出用のゴンドラ設置等ごみ投入の安全性に対する提案があり評価できた。
<u>イ：来場者の安全性及び利便性に対する提案</u> 来場者駐車場と管理諸室が隣接している配置に対し、評価できた。	<u>イ：来場者の安全性及び利便性に対する提案</u> 来場者駐車場と管理諸室が隣接している配置に対し、評価できた。	<u>イ：来場者の安全性及び利便性に対する提案</u> 施設入り口に来場車両ゲートと施設車両ゲートを個別に設置等、搬出入車両に対する来場者の安全性に対する提案があり評価できた。 来場者駐車場と管理諸室が隣接している配置に対し、評価できた。
<u>ウ：最終処分場への搬出に対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。	<u>ウ：最終処分場への搬出に対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。	<u>ウ：最終処分場への搬出に対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。
<u>エ：景観に対する提案</u> 施設のコンパクト化と配色に対し、評価できた。	<u>エ：景観に対する提案</u> 森の表現やソーラー時計等、入場者へエコをイメージした提案があり評価できた。また、別府市街と別府湾が一望でき季節を楽しむ遊歩道の提案があり評価できた。	<u>エ：景観に対する提案</u> 明るい色調、桜並木、空に溶け込むイメージの煙突等の提案があり評価できた。
<u>オ：メンテナンス及び緊急時のスペースに対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。	<u>オ：メンテナンス及び緊急時のスペースに対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。	<u>オ：メンテナンス及び緊急時のスペースに対する提案</u> メンテナンススペースとして、炉室内床マシンハッチ（機器搬出入口）下部への車両乗り入れが可能等の提案があり評価できた。 緊急時スペースとして、見学室、ロビー、ラウンジを開放し、ライフラインを整備する等の提案があり評価できた。
<u>カ：その他施設配置に対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。	<u>カ：その他施設配置に対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。	<u>カ：その他施設配置に対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。

日立造船グループ	(株)川崎技研グループ	荏原環境プラントグループ
(2) 環境対策		
<u>ア：排ガス規制値に対する提案</u> ばいじん、硫黄酸化物、塩化水素、窒素酸化物、ダイオキシン類、一酸化炭素において要求水準を上回る目標値の提案があり評価できた。さらに、その全てにおいて保証値の提案があり評価できた。	<u>ア：排ガス規制値に対する提案</u> ばいじん、硫黄酸化物、塩化水素、窒素酸化物、ダイオキシン類、一酸化炭素において要求水準を上回る目標値の提案があり評価できた。さらに、ダイオキシン類に対して要求水準を上回る保証値の提案があり評価できた。その他、水銀に対する提案があり評価できた。	<u>ア：排ガス規制値に対する提案</u> ばいじん、硫黄酸化物、塩化水素、窒素酸化物、ダイオキシン類、一酸化炭素において要求水準を上回る目標値の提案があり評価できた。
<u>イ：排水・騒音・振動・悪臭に対する提案</u> 振動に対し、昼、夜ともに要求水準を上回る目標値の提案があり評価できた。さらに、保証値も提案されており評価できた。	<u>イ：排水・騒音・振動・悪臭に対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。	<u>イ：排水・騒音・振動・悪臭に対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。
<u>ウ：CO2削減対策に対する提案</u> CO2削減として、高効率電動機や人感センサーの採用、太陽光発電設備の設置等の提案があり評価できた。	<u>ウ：CO2削減対策に対する提案</u> CO2削減に対し、高効率発電や人感センサーの採用、自然エネルギー利用（太陽光発電システム、ハイブリッド型照明）等の提案があり評価できた。	<u>ウ：CO2削減対策に対する提案</u> CO2削減として、高効率発電や負荷追従型燃焼制御システム、LED照明器具の採用、太陽光発電設備の設置等の提案があり評価できた。
<u>エ：その他環境対策に対する提案</u> その他環境対策として、低空気比燃焼によるガス量の低減等の提案があり評価できた。	<u>エ：その他環境対策に対する提案</u> その他環境対策として、焼却炉立上時、運転時、停止時及び補修工事時を含め、バグフィルタ通ガスを行う、事務車両にハイブリッド等の省燃費車両の使用等の提案があり評価できた。	<u>エ：その他環境対策に対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。
(3) 来場者対応		
<u>ア：説明用の設備・諸室に対する提案</u> 来場者説明設備として、映像等を有効に用いた市民参加型の提案があり評価できた。 来場者諸室として十分な広さの説明室が確保されており、また、説明室以外の諸室の提案があり評価できた。 その他来場者説明用の設備・諸室として、採光設備の工夫や、バリアフリー対応等の提案があり評価できた。	<u>ア：説明用の設備・諸室に対する提案</u> 来場者説明設備として、映像等を有効に用いた市民参加型の提案があり評価できた。 来場者諸室として十分な広さの説明室が確保されており、また、快適空間の確保として玄関ホール、見学室への工夫があり評価できた。	<u>ア：説明用の設備・諸室に対する提案</u> 来場者説明設備として、映像等を有効に用いた市民参加型の提案があり評価できた。 その他来場者説明用の設備・諸室として、屋上等への工夫があり評価できた。
<u>イ：その他来場者対応に対する提案</u> その他来場者対応として、別府湾展望できるスペースの採用、AEDの設置等の提案があり評価できた。	<u>イ：その他来場者対応に対する提案</u> その他来場者対応として、案内エリアの設置、パンフレットの充実、光触媒塗装の採用等の提案があり評価できた。	<u>イ：その他来場者対応に対する提案</u> その他来場者対応として、外国の方に対する説明やオブジェとして実物展示、有効な開放的な吹抜け空間（別府湾が眺望）等の提案があり評価できた。

日立造船グループ	(株)川崎技研グループ	荏原環境プラントグループ
(4) 施工計画		
<u>ア：施設の建替え計画に対する提案</u> 熱回収施設、リサイクルセンター、解体工事が分野別に示されており、有効であり評価できた。 その他、秋草葬斎場へ事前に工事予定を報告等の提案があり評価できた。	<u>ア：施設の建替え計画に対する提案</u> 熱回収施設、リサイクルセンター、解体工事が分野別に示されており、有効であり評価できた。 その他、設計段階より SPC「運営維持協議会」の意見を取り入れる、地域住民の意見を取り入れる「地域交流会」を設置等の提案があり評価できた。	<u>ア：施設の建替え計画に対する提案</u> 熱回収施設、リサイクルセンター、解体工事が分野別に示されており、有効であり評価できた。
<u>イ：既存施設の安全性及び適切な作業（作業員・搬出入車・その他関係車両等）の確保に対する提案</u> 小型機器搬入車、工事通勤用車両は主に、改修した最終処分場への進入道路を使用等の提案があり評価できた。	<u>イ：既存施設の安全性及び適切な作業（作業員・搬出入車・その他関係車両等）の確保に対する提案</u> 場内の安全確保及び渋滞防止のため、最終処分場に降りる仮設進入路（仮設栈橋）を設置等の提案があり評価できた。	<u>イ：既存施設の安全性及び適切な作業（作業員・搬出入車・その他関係車両等）の確保に対する提案</u> ゾーニングによる動線の分離やプレハブ化及び鉄骨、屋根、機器類の地組工法を採用等の提案があり評価できた。
<u>ウ：その他施工計画に対する提案</u> 進入道路の入口付近に工事概要及び進捗状況を説明する掲示板を設ける、敷地周辺での騒音をリアルタイムで複数点測定等の提案があり評価できた。	<u>ウ：その他施工計画に対する提案</u> 「設計建設協議会」や「施工チーム」とは独立した「監査チーム」を設置等の提案があり評価できた。	<u>ウ：その他施工計画に対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。
(5) 実績		
<u>ア：焼却施設の建設実績に対する提案</u> 60t/炉以上のストーカ方式の設計・建設実績、15年以上の建設稼働実績、1炉1系列あたり90日連続安定稼働の実績、ボイラタービン式の発電設備の設計・建設実績に十分な実績があり評価できた。	<u>ア：焼却施設の建設実績に対する提案</u> 15年以上の建設稼働実績に対し、十分な実績があり評価できた。	<u>ア：焼却施設の建設実績に対する提案</u> 60t/炉以上のストーカ方式の設計・建設実績、15年以上の建設稼働実績、1炉1系列あたり90日連続安定稼働の実績、ボイラタービン式の発電設備の設計・建設実績に十分な実績があり評価できた。
<u>イ：リサイクルセンターの建設実績に対する提案</u> 破碎設備、磁力選別設備、アルミ選別設備を有した施設の設計・建設実績に十分な実績があり評価できた。	<u>イ：リサイクルセンターの建設実績に対する提案</u> 破碎設備、磁力選別設備、アルミ選別設備を有した施設の設計・建設実績に十分な実績があり評価できた。	<u>イ：リサイクルセンターの建設実績に対する提案</u> 破碎設備、磁力選別設備、アルミ選別設備を有した施設の設計・建設実績に十分な実績があり評価できた。
2 運営・維持管理に関する事項		
(1) 受入・受付対応		
<u>ア：受入確認（不適物管理）に対する提案</u> 不適物管理の方法として、計量棟・プラットホームでの確認を行う、プラットホームでの目視検査・展開検査の実施、不適物取扱要領の規定、トレーサビリティシステムの活用等の提案があり評価できた。	<u>ア：受入確認（不適物管理）に対する提案</u> 不適物管理の方法として、計量時に口頭及び目視による搬入廃棄物の確認とチラシ等による受入基準の啓発を実施、月1回無作為抽出による確認等の提案があり評価できた。	<u>ア：受入確認（不適物管理）に対する提案</u> 不適物管理の方法として、目視確認、組合と連携による搬入物展開検査の実施等の提案があり評価できた。 その他、施設内やホームページ、地域連絡協議会等で処理不適物搬入状況の報告し、住民・搬入者への啓蒙・啓発を行う等の提案があり評価できた。
<u>イ：その他受入・受付に対する提案</u> 不適物取扱が増加傾向の場合、広報誌への情報提供、運営協議会やイベントでの啓蒙に努める、常時複数名での対応等の提案があり評価できた。	<u>イ：その他受入・受付に対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。	<u>イ：その他受入・受付に対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。

日立造船グループ	(株)川崎技研グループ	荏原環境プラントグループ
(2) 運転・維持管理		
<u>ア：施設の明渡し時の状態に対する提案</u> 明渡し時の状態として、最終年度に予備品消耗品の補充を行う等の提案があり評価できた。 明渡し時の状態確認として、精密機能検査および施設明渡し時の状態診断を行い、機能回復のための修繕を行った後、明渡しを行う等の提案があり評価できた。 その他、引継ぎ業務を実施するためのチーム編成や引継ぎマニュアルなど図書類の作成、実地研修の実施等の提案があり評価できた。	<u>ア：施設の明渡し時の状態に対する提案</u> 明渡し時の状態として、事業期間終了後も3年間に渡り使用することに支障のない状態を確認等の提案があり評価できた。 明渡し時の状態確認として、第三者機関による性能試験を組合立会の下で実施等の提案があり評価できた。	<u>ア：施設の明渡し時の状態に対する提案</u> 施設稼働後10年後以降に、15年間にわたる長期補修計画を立案する等の提案があり評価できた。
<u>イ：緊急時（災害時）に対する提案</u> 災害時対応として、災害対応支援システムの構築による、初動対応の迅速化、ITツールによる災害地支援（休日、夜間を含めた24時間対応）等の提案があり評価できた。	<u>イ：緊急時（災害時）に対する提案</u> 災害時対応として、緊急地震速報受信装置と防災無線の設置、AEDの設置、被害拡大のレベルをフェーズとして区切った対応等の提案があり評価できた。 緊急時には、運転員の派遣や、運営企業からの専門技術者の派遣を整備する等の提案があり評価できた。	<u>イ：緊急時（災害時）に対する提案</u> 災害時対応として、自衛消防団の結成、レベル区分に応じた対応等の提案があり評価できた。
<u>ウ：その他運転・維持管理に対する提案</u> 他施設での実績や過去の補修履歴等のデータの活用、時間ベース、状態ベース、影響度ベースによる評価、点検補修時期予測等の提案があり評価できた。	<u>ウ：その他運転・維持管理に対する提案</u> プラントの変調の早期発見、3年毎の精密機能検査を補完するために、1年ごとの第3者機関による機能検査を実施等の提案があり評価できた。	<u>ウ：その他運転・維持管理に対する提案</u> 維持管理情報システムでの管理、技術スタッフの定期的解析等の提案があり評価できた。
(3) 環境・情報管理		
<u>ア：排ガス、排水、騒音、振動、悪臭等の環境管理（測定項目、頻度、箇所）に対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。	<u>ア：排ガス、排水、騒音、振動、悪臭等の環境管理（測定項目、頻度、箇所）に対する提案</u> 排ガスに対しダイオキシン類測定頻度の有効な提案があり評価できた。 監視強化期の設定等の提案があり評価できた。	<u>ア：排ガス、排水、騒音、振動、悪臭等の環境管理（測定項目、頻度、箇所）に対する提案</u> ごみ質分析の頻度に対し有効な提案があり評価できた。
<u>イ：その他環境・情報管理に対する提案</u> 電子引継装置による情報の共有化等の提案があり評価できた。	<u>イ：その他環境・情報管理に対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。	<u>イ：その他環境・情報管理に対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。
(4) 再資源化対応		
<u>ア：セメントの資源化の安定化（販売先の確実性、実績、熱回収施設とセメント化施設との連携等）に対する提案</u> セメントの販売先、セメント販売実績について具体的な提案があり評価できた。 焼却主灰の質の安定性・変動に対する処理の安定性に対し、セメント化企業における成分変動の吸収等の提案があり評価できた。 焼却主灰は分析頻度に対し有効な提案があり評価できた。	<u>ア：セメントの資源化の安定化（販売先の確実性、実績、熱回収施設とセメント化施設との連携等）に対する提案</u> セメントの販売先、セメント販売実績について具体的な提案があり評価できた。 焼却主灰の質の安定性・変動に対する処理の安定性に対し、セメント化企業における成分変動の吸収等の提案があり評価できた。 焼却残渣ピットは貯留容量に対し有効な提案があり評価できた。	<u>ア：セメントの資源化の安定化（販売先の確実性、実績、熱回収施設とセメント化施設との連携等）に対する提案</u> セメントの販売先、セメント販売実績について具体的な提案があり評価できた。 焼却主灰の質の安定性・変動に対する処理の安定性に対し、セメント化企業における成分変動の吸収等の提案があり評価できた。 焼却主灰は分析頻度に対し有効な提案があり評価できた。

日立造船グループ	(株)川崎技研グループ	荏原環境プラントグループ
<u>イ：金属類の引取価格の安定化に対する提案</u> 金属類の取引の安定性に対し有効な提案があり評価できた。 価格変動に対し、現在運営中の長期包括運営事業での取引を考慮し設定している等の提案があり評価できた。	<u>イ：金属類の引取価格の安定化に対する提案</u> 金属類の取引の安定性に対し有効な提案があり評価できた。	<u>イ：金属類の引取価格の安定化に対する提案</u> 金属類の取引の安定性に対し有効な提案があり評価できた。 価格変動に対し、契約期間の工夫等の提案があり評価できた。
<u>ウ：発電における収入以外の効果に対する提案</u> CO2削減を目的とした高効率発電に対する有効な提案があり評価できた。	<u>ウ：発電における収入以外の効果に対する提案</u> CO2削減を目的とした高効率発電に対する有効な提案があり評価できた。	<u>ウ：発電における収入以外の効果に対する提案</u> その他発電における収入以外の効果として地元への電力供給に対し有効な提案があり評価できた。
<u>エ：その他生成物（焼却飛灰等）資源化構想に対する提案</u> 特出する提案が見られなかった。	<u>エ：その他生成物（焼却飛灰等）資源化構想に対する提案</u> 特出する提案が見られなかった。	<u>エ：その他生成物（焼却飛灰等）資源化構想に対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。
(5) 最終処分場の運営・維持管理		
<u>ア：焼却飛灰の埋立における浸出水及び埋立地内の安定性に対する提案</u> 重金属類溶出量の増加に対し、キレート薬剤を増加添加等の提案があり評価できた。	<u>ア：焼却飛灰の埋立における浸出水及び埋立地内の安定性に対する提案</u> 水質検査の測定等に対し有効な提案があり評価できた。	<u>ア：焼却飛灰の埋立における浸出水及び埋立地内の安定性に対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。
<u>イ：埋立量（焼却飛灰[入札額以外で検討する焼却飛灰の資源化は除く。]・覆土等）の減量に対する提案</u> 高反応性消石灰の使用及び消石灰の過剰噴霧の抑制等の提案があり評価できた。	<u>イ：埋立量（焼却飛灰[入札額以外で検討する焼却飛灰の資源化は除く。]・覆土等）の減量に対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。	<u>イ：埋立量（焼却飛灰[入札額以外で検討する焼却飛灰の資源化は除く。]・覆土等）の減量に対する提案</u> 覆土材からの不適物の除去等の提案があり評価できた。
<u>ウ：その他最終処分場の運営・維持管理に対する提案</u> デジタルカメラによる3次元計測・残余量測量等の提案があり評価できた。	<u>ウ：その他最終処分場の運営・維持管理に対する提案</u> 地下水の監視等に対し有効な提案があり評価できた。	<u>ウ：その他最終処分場の運営・維持管理に対する提案</u> 中央制御室での一括監視等の提案があり評価できた。
(6) 実績		
<u>ア：焼却施設の運転実績に対する提案</u> 60t/炉以上かつ2炉以上のストーカ方式の運転実績、ボイラタービン式の発電設備の運転実績に十分な実績があり評価できた。	<u>ア：焼却施設の運転実績に対する提案</u> 60t/炉以上かつ2炉以上のストーカ方式の運転実績、ボイラタービン式の発電設備の運転実績に実績があり評価できた。	<u>ア：焼却施設の運転実績に対する提案</u> 60t/炉以上かつ2炉以上のストーカ方式の運転実績、ボイラタービン式の発電設備の運転実績に十分な実績があり評価できた。
<u>イ：リサイクルセンターの運転実績に対する提案</u> 破碎設備、磁力選別設備、アルミ選別設備を有した施設の運転実績に十分な実績があり評価できた。	<u>イ：リサイクルセンターの運転実績に対する提案</u> 破碎設備、磁力選別設備、アルミ選別設備を有した施設の運転実績に実績があり評価できた。	<u>イ：リサイクルセンターの運転実績に対する提案</u> 破碎設備、磁力選別設備、アルミ選別設備を有した施設の運転実績に十分な実績があり評価できた。
<u>ウ：最終処分場の運転実績に対する提案</u> 一般廃棄物最終処分場の埋立作業及び浸出水処理施設の運転実績に十分な実績があり評価できた。	<u>ウ：最終処分場の運転実績に対する提案</u> 一般廃棄物最終処分場の埋立作業及び浸出水処理施設の運転実績に実績があり評価できた。	<u>ウ：最終処分場の運転実績に対する提案</u> 一般廃棄物最終処分場の埋立作業及び浸出水処理施設の運転実績に十分な実績があり評価できた。
<u>エ：セメント化の運転実績に対する提案</u> セメント化の運転実績に十分な実績があり評価できた。	<u>エ：セメント化の運転実績に対する提案</u> セメント化の運転実績に十分な実績があり評価できた。	<u>エ：セメント化の運転実績に対する提案</u> セメント化の運転実績に十分な実績があり評価できた。

日立造船グループ	(株)川崎技研グループ	荏原環境プラントグループ
3 事業計画に関する事項		
(1) 長期収支計画の安定性		
<u>ア：SPCの安定化方策に対する提案</u> 運転資金の確保及び出資者利益に関する優れた提案があり評価できた。	<u>ア：SPCの安定化方策に対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。	<u>ア：SPCの安定化方策に対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。
<u>イ：不測の事態への対応策に対する提案</u> SPCに一定額を内部留保するとともに、不測時の資金確保対応策の提案があり評価できた。	<u>イ：不測の事態への対応策に対する提案</u> SPCに一定額を内部留保するとともに、不測時の資金確保対応策の提案があり評価できた。	<u>イ：不測の事態への対応策に対する提案</u> SPCに一定額を内部留保するとともに、不測時の資金確保対応策の提案があり評価できた。
<u>ウ：その他長期収支計画の安定性に対する提案</u> 経営状況についてのセルフモニタリングに関する優れた提案があり評価できた。	<u>ウ：その他長期収支計画の安定性に対する提案</u> 経営状況についてのセルフモニタリングに関する優れた提案があり評価できた。	<u>ウ：その他長期収支計画の安定性に対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。
(2) リスク管理方針		
<u>ア：リスク管理の基本的な考え方に対する提案</u> リスクマネジメント計画についての基本的な考え方が整理されており評価できた。	<u>ア：リスク管理の基本的な考え方に対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。	<u>ア：リスク管理の基本的な考え方に対する提案</u> リスク管理についての基本的な考え方が整理されており評価できた。
<u>イ：セメント化業務の継続性に対する提案</u> セメント化企業の所有する他工場での業務継続を検討する提案があり評価できた。	<u>イ：セメント化業務の継続性に対する提案</u> セメント化企業の所有する他工場での業務継続を検討する提案があり評価できた。	<u>イ：セメント化業務の継続性に対する提案</u> セメント化企業の所有する他工場での業務継続を検討する提案があり評価できた。
<u>ウ：本事業に伴うリスクに対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。	<u>ウ：本事業に伴うリスクに対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。	<u>ウ：本事業に伴うリスクに対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。
<u>エ：個別のリスク対応策に対する提案</u> 組合が重視するリスクのいくつかについて、具体的な管理方策の提案があり評価できた。また、保険の活用やリスク管理実績に関する優れた提案があり評価できた。	<u>エ：個別のリスク対応策に対する提案</u> 組合が重視するリスクの全てについて、具体的な管理方策の提案があり評価できた。また、保険の活用に関する優れた提案があり評価できた。	<u>エ：個別のリスク対応策に対する提案</u> 組合が重視するリスクのいくつかについて、具体的な管理方策の提案があり評価できた。
<u>オ：その他リスク管理に対する提案</u> 特出する提案は見られなかった。	<u>オ：その他リスク管理に対する提案</u> 緊急時のバックアップ方策について、具体的で実効性のある提案があり評価できた。	<u>オ：その他リスク管理に対する提案</u> 危機管理に対する教育、訓練についての提案があり評価できた。
(3) 地域や社会への貢献（ア、地元企業の活用）		
地元企業の活用に関し、発注額及び発注企業数に対する優れた提案があり評価できた。また、実効性の高さを確認できる提案であり評価できた。	地元企業の活用に関し、発注額及び発注企業数に対する優れた提案があり評価できた。また、実効性の高さを確認できる提案であり評価できた。	地元企業の活用に関し、発注額及び発注企業数に対する優れた提案があり評価できた。
(3) 地域や社会への貢献（イ、地元人材の活用）		
現藤ヶ谷清掃センター運転員・選別作業員の雇用に対する優れた提案があり評価できた。この他にも地元人材を雇用する人数において特に優れた提案（現状の雇用人数を上回る等の提案）があり評価できた。また、実効性の高さを確認できる提案であり評価できた。	現藤ヶ谷清掃センター運転員・選別作業員の雇用に対する優れた提案があり評価できた。この他にも地元人材を雇用する人数において特に優れた提案（現状の雇用人数を上回る提案）があり評価できた。また、実効性の高さを確認できる提案であり評価できた。	現藤ヶ谷清掃センター運転員・選別作業員の雇用に対する優れた提案があり評価できた。この他にも地元人材を雇用する人数において優れた提案があり評価できた。また、実効性の高さを確認できる提案であり評価できた。

日立造船グループ	(株)川崎技研グループ	荏原環境プラントグループ
4 入札価格に関する事項		
(1) 入札価格		
19,870,000,000 円	21,117,441,000 円	18,677,387,806 円
5 高効率ごみ発電に関する事項		
(1) 発電効率		
ア：高効率ごみ発電についての実効性の提案 発電効率を 17%以上とする提案があり評価できた。	ア：高効率ごみ発電についての実効性の提案 発電効率を 17%以上とする提案があり評価できた。	ア：高効率ごみ発電についての実効性の提案 発電効率を 17%以上とする提案があり評価できた。

藤ヶ谷清掃センター更新に係る事業者選定等アドバイザー業者選定委員会

審査講評

本事業は、別府市、杵築市、日出町で発生する廃棄物の適正な処理を行うため、エネルギー回収推進施設、マテリアルリサイクル推進施設を新設し運営・維持管理するとともに、既存最終処分場を運営・維持管理することを目的とするものである。

当初入札においては、再資源化企業に対して比較的厳しい要求を行ったことから、再度入札の実施に至ったことは、結果的として入札参加者には長期間にわたり、本組合の行政に多大な協力をいただいたことになる。さらに、4グループから提案書を受領することができたこと、そして、定量化審査の対象者となった入札参加者の提案は、いずれも多くの創意工夫が行なわれていることが確認できたことは、事業者等選定委員会としても喜ばしいことである。

事業者等選定委員会で実施した定量化審査においては、全ての評価項目について、落札者決定基準に基づき、事業者等選定委員会委員の合議による慎重な審査を行った。その結果、日立造船グループによる提案を全会一致により、最優秀提案として選定するに至った。

選定された当該グループの提案は、設計・建設工事に関しては、環境対策及び来場者対応において特に配慮した提案となっている。また、優れた実績を有していることから、円滑な施設整備を期待することができる。運営・維持管理に関しては、廃棄物の受入・受付対応においてノウハウを活かした提案がなされているとともに、それを裏づける実績についても十分に確認することができた。事業計画に関しては、地元企業への発注、地元企業の育成の提案とともに、現清掃センター職員の雇用や地元人材の活用に関して優れた提案があるとともに、実効性の高さを確認できた。また、発電に関しても、高効率であることが確認できた。

組合による落札者決定を経て、組合は、日立造船グループの構成員及び新たに設立する特別目的会社と各種の契約を締結することとなるが、日立造船グループに対しては、藤ヶ谷清掃センターが循環型社会に寄与する施設となるよう、以下の諸点に努めるよう事業者等選定委員会として期待したい。

- ・設計・建設と運営・維持管理を一括で発注するDBO方式の特徴を生かし、民間の創意工夫が図られた提案となっている。この提案を確実に具現化するために設計・施工段階から特別目的会社を含めた調整を行い本業務を遂行すること。

- ・本立地条件を十分に理解し、特に景観や環境対策に配慮して業務を遂行すること。
- ・セメントのみならず、金属類等についても、民間ノウハウを活かした安定かつ有効な資源化を継続すること。
- ・一般来訪者が快適に施設を利用できる環境とすること。
- ・搬入者、搬入車輛の安全確保に細心の注意を払うこと。
- ・事業期間にわたる適切な運転及び維持管理により、良好な状態で組合への施設の明け渡しを行うこと。
- ・地元企業には、PPP（官民協調）に関するノウハウ移転を図ること。
- ・新規藤ヶ谷清掃センターで従事する職員の安全性に、十分に配慮すること。
- ・提案する工期を常時厳守するとともに、工事中の周辺住民への生活環境並びに既存施設の安定運転に十分配慮すること。

平成21年12月

藤ヶ谷清掃センター更新に係る事業者選定等
アドバイザー業者選定委員会

会長 友永 哲男